

◆ 財団主催のシンポジウム開催のご報告 ◆

2015年11月5日(木)、丸の内MY PLAZA ホールにて、当財団主催シンポジウム「人生100年時代の“つながり”を支えるICTの力 - 虚弱化、軽度認知障害と向き合う -」を開催しました。当日は、60～70歳代の方を中心に235名の方にご参加いただきました。なお、概要につきましては本文8,9ページをご覧ください。

◆ ダイヤビック15周年 ◆

ダイヤ財団が高齢者にもエアロビックを楽しんでもらおうと開発した“ダイヤビック”が15周年を迎えました。11月15日に開発当初からご指導いただいている湘南エアロビックコミッティの小林祐美先生をお招きして、指導者の集まりである「ひばり会」のメンバーと記念の研究会を盛大に行いました。



◆ 学会発表 ◆

(*は財団研究員)

第68回 米国老年学会 (11/18～22、オーランド)
中島民恵子(Rutgers University)・渡邊大輔(成蹊大)・澤岡詩野*・大上真一(国際長寿センター):「Does Amount of Volunteering Improve Self-rated Health? (ボランティア活動は主観的健康感を高めるか?)」

◆ 英文書籍の発行 ◆

当財団の石橋研究部長が分担執筆した高齢者ケアの国際比較に関する書籍「Long-term care reforms in OECD countries」がPOLYCY PRESS (<http://www.policypress.co.uk/display.asp?k=9781447305057>)より2015年12月に刊行されました。財団評議員の池上直己先生(慶應義塾大学名誉教授)と共に日本の現状を紹介しています。

◆ ダイヤル更新 ◆

2015年12月18日に「社会老年学文献データベース(DiaL)」の更新作業を完了しました。新規登録論文数は、278件です。(<http://www.dia.or.jp/dial/>)

◆ 財団職員の異動 ◆

2015年12月31日付けで、西村芳貢(企画調査部次長)が定年退職しました。

表紙写真について 『北陸新幹線開業企画 北陸の風景』 - 福井県 - 文/橋本確文堂

北陸シリーズの最後を飾る福井県は、恐竜化石の発掘量が日本一を誇る「恐竜王国」。世界三大恐竜博物館のひとつに挙げられる「福井県立恐竜博物館」は年間約70万人が来場する人気スポットです。恐竜王国を象徴するかのように、福井駅前には実物大の動く恐竜オブジェもあります。福井県は景勝地にも恵まれており、特に著名なのが越前海岸にある「東尋坊」。断崖絶壁が約1kmにもわたって続く景観は圧巻です。また越前海岸の越前岬は冬、一面に水仙が咲き誇ります。

県内には歴史を感じさせるスポットも多々あり、かつて越前一帯を支配した朝倉氏の遺構をそのまま復原した「一乗谷朝倉氏遺跡」、現存天守閣では最古の建築様式を持ち、霞ヶ城の異名も持つ「丸岡城」などが代表格です。

恐竜から自然、歴史まで、多彩な楽しみ方ができる福井に行ってみませんか?